



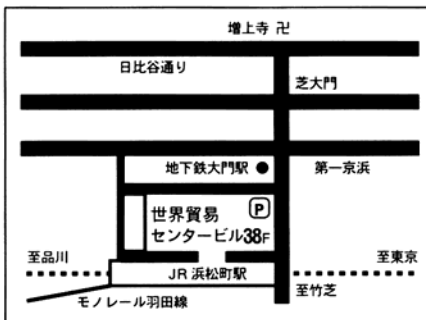
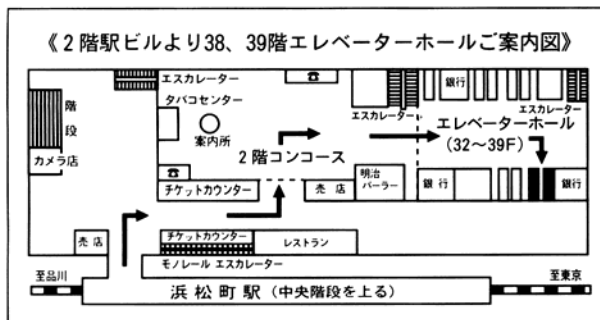
東京格致会 総会と旧交を温める懇親会
来る十月五日(土)モノレールの駅ビル上階で東京湾を眺めながら

今年も東京格致会の集いが、浜松町の世界貿易セン
タービル38階の「東京会館」で開かれます。当日は郷里
から金岡母校校長及び伊達本校同窓会長が出席の予定
です。本年度は(株)フェリエ化粧品代表取締役福場美
知留(昭45卒)さんの講演「美しく生きるために(美
容と健康)」が企画されており。また、懇親会では、豪華商品の当たるビンゴゲームが行われることになっ
ておりますし、女性の参加者の皆さまには全員に特別の
おみやげが用意されます。ご家族の同伴も大歓迎です。
懐かしい顔ぶれとの再会で、お腹も心も満腹されること
でしょう。高層からの眺望も楽しめます。お誘い合わせ
のうえ大勢ご参加下さい。

なお、昨年度は平成十三年度十月六日に千代田区丸
の内、中華料理のお店「山水楼」で盛大に開かれました
(当日の出席者・写真は別掲)。

- 一、日時 平成十四年十月五日(土)十一時三十分から受付
二、場所 浜松町東京会館(世界貿易センタービル38階)
港区浜松町一四一 TEL:03-3451-3611
三、総会 十二時から十二時三十分
四、講演 十二時三十分から十三時十五分
五、懇親会 十三時三十分から十五時三十分
六、会費 八、〇〇〇円(男女・同伴者とも)
七、年会費 二、〇〇〇円(当日受付でも承ります)
八、その他 家族等の同伴も可

《総会・会場の御案内》



第10号

2002年9月

発行人・平田耕司

編集人・合田良三

東京格致会総会

(平成13年度)



出席者名簿

- 金岡 俊信 庄原格致高校校長
伊達 正治 格致同窓会会長
藤井 経雄 近畿庄原格致会会長
清水 虎夫 実業同窓会支部長
田辺威久馬 実業同窓会副支部長
滑 年雄 実業同窓会支部顧問
秦 典三 世羅高校友会会長
遠藤恵美子 世羅高校友会
東 覚 昭7年卒 信清 治 昭31年卒
田部 幸雄 昭10年卒 渡利 治博 昭31年卒
長井 一美 昭15年卒 加藤 哲治 昭32年卒
平田 耕司 昭20年卒 飛谷 安宣 昭32年卒
八谷 義登 昭20年卒 長尾 文雄 昭32年卒
渡邊 昭典 昭20年卒 中田 唯之 昭32年卒
山田健太郎 昭23年卒 生田八洲紘 昭33年卒
岡田 剛一 昭24年卒 合田 良三 昭33年卒
坂井 昌彦 昭24年卒 森沢 進 昭33年卒
森戸 昭夫 昭24年卒 黒田 正宏 昭34年卒
金森 裕雄 昭25年卒 迫田 芳徳 昭34年卒
酒井 久幸 昭25年卒 米沢 武則 昭34年卒
室伏 孝一 昭25年卒 横山 弘佳 昭35年卒
岡田 昌人 昭26年卒 光島 勝馬 昭35年卒
佐竹 幸二 昭26年卒 八谷 英樹 昭35年卒
三浦 重造 昭26年卒 吉岡 公義 昭35年卒
保田 治義 昭26年卒 田辺 実 昭40年卒
友広 寿 昭27年卒 田中 文男 昭40年卒
松田 昭子 昭27年卒 和泉由起夫 昭41年卒
石飛 力 昭28年卒 迫田 秀明 昭41年卒
兼利 卓蔵 昭28年卒 藤原 剛 昭43年卒
近藤 正昭 昭28年卒 石井美佐子 昭47年卒
明賀 馨 昭30年卒

# 雑学遍歴



会長  
平田 耕司

平成七年退職して今日まで幸に健康で毎日を楽しみ、時には忙しく過ごしている。当初、これからは時間は充分、行動も自由だから出来るだけ広く又多くのことを体験したいと思っていたところ、隣家の人(二才上)から早朝散歩をしないかという誘いがあったので始めた約一時間の運動はいまだに続けている。この散歩は特に老人にとっては大変良いことだと健康に関する多くの図書に生活習慣病対策の柱としてふれており、自信をもって日曜日と雨以外の毎朝、欠かさず実行している。それと頭脳の運動もということから千葉県や浦安市主催の教養講座や近くの大学(明海大学、千葉工業大学)主催の公開講座を聴講することを始め、今日までにそれらの修了証が十五枚にもなった。この種の講座は多くの自治体が実施して有難い世の中になったものだと思う。

又同時に俳句と俳画の手習い(カルチャースクール)へ通ったがこれは少しばかり苦勞が伴い前者は三年、後者は四年で止めてしまった。然し俳句の体験は面白い方向へ進んだ。

それは当時、俳句の仲間と江東区深川の芭蕉記念館を見学したことに始まり、

以来「奥の細道」の行先々の句碑を確認したいと思うようになったことである。深川の芭蕉記念館は、その附近へ「芭蕉庵」があったといわれるところで、句碑は「古池や…」と「草の戸も…」がある。足立区千住大橋は「奥の細道矢立初めの地」であり「行く春や…」が確認出来た。その後日光東照宮の「あらたうと…」、岩手県平泉では「夏草や…」「五月雨の…」、山形県山寺で「閑さや…」、茨城県鹿島の「月はやし…」、奈良唐招提寺の「若葉して…」、更に京都落柿舎、新潟弥彦神社などの句碑も確認した。その折々の背景や印象は今もすっかり心に残っている。

更に最近特に興味をそそるのは美術館。美しい級友に画家がいて彼とは都内外の美術館や美術展を毎年数か所まわり、おかげで多少の美術知識を得ることが出来た。上野の国立西洋美術館常設館にはパリその他の外国へ行かなくても近代絵画の巨匠クールベ、ゴッホ、コロドー、シスレー、セザンヌ、ピカソ、マネ、ミレー、モネ(睡蓮もある)、ルオー、ルノアールなどの作品を身近にみることが出来る。余生はまさに気ままな「雑学遍歴」ではあるが今後も続けるつもりだ。先般の東京格致会幹事会で同窓親睦の会として「首都圏めぐりの会:仮稱」を創設してはという声もありその設立を期待している。

(昭和二十年卒)

# 「郷土」としての学校



広島県立  
庄原格致高等学校長  
金岡 俊信

国際化が進む。人も情報も速く遠くに移動する。どこに行ってもどこに住んでもよい時代になりました。本当に自由が感じられます。しかし、この時代、人は根無し草にもなり得ます。たしかに、今の時代どこにも行けますが、どうせどこかで生きていかなければならないし、誰かと共に住まなければならない。ただ、そのことを忘れていくかのような状況が今起きています。個人の自由が優先され、社会や地域の在り方よりも尊重される風潮です。そして、その自分の地域や社会の組織を壊して根を切り、自らを浮遊物体のようすることが至るところで起きています。時代の変わり目といえばそうかも知れませんが、具体的な学校組織を預かる者としては、やはり具体的な対応を行わなければならないと思っています。

ここ北備の地域はまだ「郷土」としての機能を持つてはいますが、それだけではなく、格致高校を生徒にとつての「郷土」としていききたいと思っています。本校は、学業・クラブに励む学校であるが、それと共に「精神性」も大切にしている学校であると願っております。昨年も行いましたが、本年も十一月一日の本校創立記念日には記念行事を持ち、小田源吉先生の墓参も

計画しております。また、スクール・アイテムとして学校特製のファイルも配布したいと思っております。文化祭、体育祭は共に格致祭として母校を感じる大きな行事となっております。格致検定の「郷土」学習でも郷土への関心を高めています。さらには、折りに触れ「格致」の名を冠した行事も計画しております。そして、なによりこの学校に来てよかったという思いを生徒がしてくるよう、熱く、厳しく、そして、優しく穏やかに、メリハリつけた指導を行い、本校を心の故郷としてくれるよう、職員一同、保護者や地域の皆様、同窓会の方々と心を合わせて教育実践を行ってまいります。同窓会の諸先輩諸先生方のご指導ご支援よろしくお願い致します。

広島県立庄原格致高等学校公式ホームページ  
<http://www.shobarakakuchi-h. Hiroshima-c.ed.jp>

東京広島県人会のホームページに東京格致会の同窓会だよりを掲載しております。一度、開いてみてください。(アドレス <http://hiroken.gr.jp>)

## 同窓の絆を力に



同窓会長  
伊達 正治

「歳々年々人同じからず」と申しますが、その後東京格致会員の皆様にはご健

祥のことと拝察申し上げます。

時の流れ、季節の移ろい、社会の様変りなど身の廻りのすべてが、なんと速く夢のように通り過ぎてゆく昨今です。万物流転の自然と人生を「歳々々々」と詠んだ初唐の詩人劉延芝のこの一節が感銘深く思い出されるこの頃です。

二十一世紀初頭、昨年アメリカでの同時多発テロ事件以来、世界情勢は急変しました。我が国も長い景気不況下で政治、経済や社会情勢の不安混迷が続いています。その中で先般の日韓共催のサッカーW杯では日本中が熱狂的興奮に湧いたものの、世の中は相変らずの停滞感が漂い政治不信はつのるばかり。景気も一向に改善されず、更に社会生活は不幸な事件が頻発、転じて教育界も考え行動する教育へ移行するという新学習指導要領の実施も、その内実は学習内容が約三割削減されていると聞く。また週五日制によって授業時数も減少し、学力低下などさまざまな課題と懸念が提起されているというのが我が国の今日状況のようであります。五十七年前の敗戦当時、虚脱状態に陥って人々が右往左往していたあの頃の時代と何か似通ったものを感じるこの頃ですが、当時、私も除隊復員したばかりで途方にくれやり切れない日々を送っていたものです。丁度その頃ふとある本と出会って感動した言葉「吾人は須く現代を超越せざるべからず」という言葉が、今再び私の中によみがえって参ります。何はともあれ、生命あって今日生かされていることに感謝し、かけがえのない

人生の「青春」を母校で学んだからこそ現在の自分があることに思いを至し、縁あって同窓という糸で結ばれた多くの人々とのつながりを大切にしてこれを生きる力の源泉にし、駆けめぐる不透明な現代社会を俯瞰しつつ今ある生命をたくましく楽しく社会に貢献し謳歌したいものと思念しております。

ペンの走るまま所懐の一端をつゞり、会員皆様の一層のご活躍と東京格致会の益々のご発展を期待し擱筆いたします。(昭和十八年卒)

○ 会員だより

東京を「終いのすみか」と  
さだめて



昭和三十二年卒  
山本 郁子  
(旧姓 清水)

「清水の姓をここに、とどむれど

我らが生命消ゆることなし」  
(父、豊)

「東京も故郷に似にけり人の情」  
(母、文香)

昨年十一月、両親や先祖のお骨を抱いて姉妹3人泣きながら中国道を東京に向かった。

かつて、私の家族は満州の引揚者で、すべての財産を失い極貧の日々を孤立し

た社会の中で肩を寄せ合い励まし合い未来への夢を描き、心豊かに前向きに生きる術を父から学び現在を迎えた。お墓改葬の跡に桜を数本植樹した。何時か故郷を訪れ満開の桜の下で両親の深い愛を心に刻みたいとの願いを込めて。

「癒し」と言う言葉を良く聞く、高齢化社会を目前に「どのように生き、どう死するか」が大問題である。私の母は父の死後二十数年「庄原」で一人暮らしを楽しんで居たが七年前歩行困難となり東京で暮らす事となった。間もなく車椅子となり痴呆も始まった。働いていた私の生活は一変した。母を支えて慌ただしくも切なく、やるせない連続の日々、「介護する者」「介護される者」互いに癒しを相手に求める。ましてや痴呆の母に拘る苦しさは筆舌につくしがたい。私は自信を失い自暴自棄となり、母は私の様子で動揺し益々痴呆が進む。こうした悲しみや、やるせなさは家族の中だけで癒していくことは現実にはとても難しい。介護に疲れた家族が崩壊すると言う現象も起きて居る。「呼び寄せ」での介護は親の環境も変わり大変である。

若い行く者すべての人達が、かつて輝いていた時期があり、またその線上を生きているのである。介護する者がその認識を持つ事で介護されている者への「受容の心」が感謝への思いとして育まれていくようである。

私は訪問医療、数々の公的サービスを携わって主人の理解と励まし妹二人との連携プレーで社会参加もし「区民特派員」

**長井運送株式会社**

代表取締役  
**長井 一 美**  
(昭和15年卒)

〒105-0023 東京都港区芝浦1-3-3  
電話 (03) 3451-2293

**駒沢動物病院**

**田部 幸 雄**  
(昭和10年卒)

〒154-0012 東京都世田谷区駒沢3-16-2  
電話 (03) 3421-7902

として「高齢者福祉の現場から」と題し取材もつづけた。平成十二年十二月。母は終末まで私の家で暮らし、優しい美しい顔を残して去っていった。

ありがとう。お母さん。

「明日ありと 思う心の あだ桜  
夜半に嵐の 吹かぬものは」とか…。  
生かされている「今」を大切にして、これからも地域や家族、自分自身のためにも頑張るって参ろうと思っています。

## 第二の人生



昭和四十年卒  
花田 和教

今年三月末、定年まで五年を残して三十二年間勤めた警視庁を退職しました。

「この不景気な時に」「もったいない」「何か悪いことでもしたのか」とほとんどの人が言います。

上司の管理官は、妻の同意を確かめに自宅に來られました。私は考えを変えませんでした。

三十年前、非番の時に疲れていた班長の顔が思い出され、当時は五十五歳が定年でした。私は、今年五十五歳になるのです。

「今の人が、三十年前の人より体力が勝っているとは思えないし、若い人から見れば今も昔も変わらない。」と私は言っています。

退職して感じたこと  
良かったこと

- ・二月一日から六十日間の有給休暇をもらった。

- ・義母から仏壇の寄贈があり、阿弥陀如来像の入仏式を行った。

- ・二日に一度は、ゴルフの打ち放しで二〇〇発以上打った。

- ・そばやうどんを打ち、家族で食べたが大変美味かった。

- ・借金が無くなり、預金が増えた。

- ・登山や散策の良さが分かり、野鳥や花を撮影する「ゆとり」ができた。

- ・悪かったこと  
仲の良かった同僚や部下との別れ  
刑事への未練

- ・心のどこかにある寂しさ

現在、損害保険会社に勤めておりますが、毎日仏壇に手を合わせ、生き暮も立て、先祖に感謝しています。

月に一度は、夫婦で川越の光西寺に法話を聞きに行っています。

心に少しの「ゆとり」が出来ました。

祖父六十七歳、父六十二歳、この短命の血筋、少しは延ばすことができるのではうか。

平成十四年五月二十八日 記す

## 医療を受ける人への期待

― 受けた医療の選択は生き方の選択 ―



昭和四十三年卒  
茶園 美香

一九七三年以来、看護師という立場で

医療に関わり考えていることを紹介したいと思います。

この三十年の間、医療は大きく変わりました。高度医療技術の発展は最も大きな変化です。病気の早期発見・治療が可能となり、難しい病気も多様な治療法により生命を取り止め、回復するようになりました。「死」を待つしかなかった重篤の病気も、延命が可能になりました。今後も、生殖医療、臓器移植、遺伝子治療など医療技術が開発されることが予想されます。医療の発展によりわれわれはさまざまな恩恵を受けましたが、その反面、人間としての尊厳の喪失など失ったものもたくさんあります。

もう一つの変化は「患者中心の医療」という考え方の普及です。先日の新聞によると日本医師会は「遺族に対する診療記録（カルテ）の開示を検討（七月六日朝日新聞）」とありました。これも「患者中心の医療」の新しい変化です。「患者中心の医療」は約十年前から「インフォームド・コンセント」という言葉で始まりました。患者が納得できるまで医療者からの説明を受け、同意できない時は医療者の提案を断ることができるといのがこの考えの基本です。その後、病氣・治療の積極的な説明、患者へのカルテの開示、医療事故の積極的な公表、セカンドオピニオンの勧めなど、「患者中心の医療」が進みました。この傾向はさらに発展するでしょう。これらの変化は、患者自身が自らの意思で選ぶ機会と選択肢が増えたことを意味します。

## 酒井会計事務所

税理士 酒井 久幸  
(昭和25年卒)

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町  
2-13-28  
電話 (03) 3255-8995

## 洋光繊維株式会社

代表取締役

木村 貞寧  
(昭和25年卒)

〒130-0004 東京都墨田区本所4-9-10  
電話 (03) 3623-3176

日常において私たちは、内容を十分吟味し、納得してものごとを決めています。しかし、「患者」になると「先生にお任せします」と受身になってしまいます。「病氣」は、専門的知識を必要とするだけに、専門家にゆだねたい思いになることは当然です。しかし、選択肢が増えた現在、患者は、医療者から十分な説明を受け納得して、最終的には自分で受けた治療を決めることが人間としての尊厳を保ちつつ、自分らしい生き方をする上で重要となります。最近の例でも、日本では無認可の治療薬を外国から取り寄せて使うがん患者、その反対に積極的な治療は受けず仕事に取り組むがん患者、死が避けられない時、最期まで病院で過ごすことを選ぶ患者、その一方で在宅療養を選ぶ患者。このように一人一人が自分の生き方で受ける医療を選択することが可能になりつつあります。医療の選択は、自分の生き方の選択です。これからの医療は、医療を受ける患者自身が主役になるべきだと思います。

### 仕事と家庭について



昭和四十五年卒  
福場 美知留  
(旧姓 市岡)

昭和四十五年、庄原格致高校を卒業後、神戸常磐短期大学衛生技術科入学。四十七年衛生検査技師として、広島記念病院

に入社。四十八年、法律改正に伴い臨床検査技師国家資格取得。五十年、結婚。ちなみに、夫、福場泰蔵は庄原格致高校の同級生であります。五十七年、夫の転勤に伴い、広島記念病院を退職し上京。その後、六年間主婦として家事育児に専念する。現在二十七歳長女、二十一歳長男、二十歳次女の三人の子供に恵まれております。末の子供が幼稚園に入園したとき、いよいよ臨床検査技師として社会復帰をと考え、成人病検診のパートタイマーとして復帰を試みるが時間のやりくりがうまくいかず挫折。ちょうどその時期、自分にとって大きな転機を迎える。化粧品との出会いがあり、化粧品の代理店として販売とホームエステサロンをスタートさせる。その後、十年間、子育てをしながら、趣味のような感覚でホームサロンを開業していたのだが、気がついてみたら月間三〇〇人もを客様を施術する規模になっていたというのが正直なところで、がむしゃらにとか、歯を食いしばってというのではなく、主人にも、子供にも迷惑をかけない範囲での内職的な仕事のつもりであった。しかしながら、化粧品に対する思いは年々強くなり、今から六年前、その熱い思いをある人との出会いで実現させることとなる。それが株式会社フェリエ化粧品の設立である。自分自身が十六年前に出会った特殊構造の化粧品、浸透性がよく、結果が出る構造と内容成分。十年間自分なりに勉強した成果を化粧品開発と言うカタチで夢を現実のものとしたのであります。

この六年間で、開業させたホームサロンが一五〇店舗。育成したエステティシャンが一四〇人。一店舗も潰していないのが私の誇りであり、商品力のなせる技でもあります。ここに来て商品の評価が高まり八月よりいよいよ、東急プラザ渋谷店にて店頭販売が開始されることとなった。又、十月より通信教育で弊社の技術と商品が販売開始となります。六年間仕事に没頭し、今日を迎えることが出来たのは家族のおかげ。特に夫には文句ひとつ言われずむしろ協力体制である事に感謝しています。なんとと言っても、格致高校からの友情の成せる業といったところでしょうか。

### 郷土だより

#### 蛍が甦った比婆の里



昭和三十五年卒  
桑原 知樹  
(市役所OB)

数年前から比婆の里に蛍が甦っています。高度成長時代の急激な環境変化で水質汚濁がすすみ清流に生息するカワナガが激減したことや農薬散布等の影響で蛍の姿が消えていきましたが、五、六年前からでしょうか？六月の初旬になると小川や田んぼの辺でゲンジボタルが乱舞するよう

《健康と美容のコンサルタント》

合資会社 **めぐみ薬局**

代表社員 **恵木 弘**  
(昭和30年卒)

本店 川崎市高津区新作4-11-19  
電話 044 (888) 3000  
支店 川崎市宮前区東有馬5-23-6  
電話 044 (866) 2426



**西葛西・井上眼科病院**

院長 **宮永 嘉隆**  
(昭和28年卒)

〒134-0088 東京都江戸川区西葛西5-4-9  
TEL 03-5605-2100(代)

になり故郷の人々の心を和ませています。比婆の里は、一昔前と比べると道路は広くなり河川改修もすすみ農地は基盤整備され市街地には近代的な建物が増える等で見えた目は若干かわりましたが、自然の美しさは今も同じです。

国定公園比婆連山の豊かな森や帝釈峽の渓谷、最近できた温泉施設や雄大な国営公園等もある比婆の里は現代人が求めている癒しの環境に相応しい場所です。この比婆の里が多くの人々に注目されても不思議はない訳ですが、案の定、訪れる観光客が増えています。

特に庄原市は、昨年一年間の観光客数が前年比六五%増の七三万人となり県内市町村の中で九位(前年は一九位)に躍進しました。

温泉ブームが続く中で千三百米の地下から湧出しているラドン温泉の施設「かんぼの郷庄原」がオープンしたことや「国営備北丘陵公園」で若者に人気の「SMAP」や「ミスターチルドレン」の野外コンサートなどが観光客数を押し上げた要因のようです。

ただ、快適環境の比婆の里に観光客は増えていますが、人口の減少傾向は依然として続いており各市町ともに過疎や厳しい財政状況はいっそう深刻になっています。

そうした中での「平成の大合併」は、足腰を強くし・厳しい財政状況に対処し行政の効率化を図る絶好のチャンスだとはいち早く庄原市・西城町・口和町・高野町・比和町及び甲奴郡総領町が合併

協議会をつくり二〇〇四年十一月一日を合併の日と定め準備をすすめています。ちなみに、平成十二年のデータによる合併後の面積は約九四一平方キロメートルで県内一位の面積。人口は約三万五千人。六五歳以上の高齢者比率は約三二%です。

七月に予定されている合併協議会では、新市の名称や市役所の位置などが協議されるようです。(東城町は単独町制の方向ですが、庄原市等との合併を希望する住民グループが署名活動を始めています)

なお、合併協議会の事務局は広島県備北地域事務所庄原分庁舎(旧合同庁舎)の二階にあり十四名の職員が配置されています。

ホームページのアドレスは  
<http://www.sh4s-hiroshima.jp>です。

蛸が甦った比婆の里は、今、ひとつの地方自治体として生まれ変わろうとしています。



**東京格致会  
ゴルフ同好会コンペについて**

昭和三十二年卒 中田 唯之

(前幹事)

東京格致会ゴルフ同好会のコンペは、春と秋の年二回行われており、今年の春



の大会で二六回となりまし。今大会は、五月二五日(土)晴天の一の宮カントリー倶楽部東コース(酒井様の御紹介)で、六組参加者二二名で実施されました。競技は、一八ホールストロークプレイ、アンダーハンディ方式(ハンディは、事務局公認のハンディ)で実施され、表彰は、優勝、準優勝等多数行われ、加えて、一の宮カントリー倶楽部及び当倶楽部のメンバーの方から賞品の寄贈があり、ほとんどの参加者が何らかの賞を受けました。この競技に付随して勝馬投票を行い、賞と当り馬券の両方で稼いだ方も居られました。また、今回は、ゴルフのミスが減らす訓練と懇親会経費を捻出する方策として罰金制度(OB、ロストボール、池ポチャ及び三パット以上の場合、それぞれ一回につき一〇〇円の罰金を徴収し、懇親会の経費に充当する。)を導入したところ、この収入は、会の運営に大いに役立ちました。

因みに、今回のコンペでは、残念ながら、上位をゲストに独占され、会員の最高は、

**テレビ飯能**

ブロード・バンドでまちづくり。  
各種案内ビデオ受け付けります。

代表取締役 **和泉由起夫**

(昭和41年卒)

飯能ケーブルテレビ株式会社

〒357-0015 埼玉県飯能市小久保19-1

TEL 0429-74-3611 FAX 0429-74-3612

E-mail info@tv-hanno.co.jp

どんな小さな工事・修理でも、お気軽にご相談ください

**ガーデン&エクステリア**

0120-454295 お気軽にどうぞ



株式会社 **八王子装建**

代表取締役 **西谷光徳** (昭和46年卒)

諸官庁工事指定店 10年保証 お見積り無料 迅速対応

八王子市市安町1-32-19 TEL 0426(45)4295 FAX 0426(44)8549

酒井様の四位でした。秋のコンペは、一月二日(土)一の宮カントリー倶楽部で実施予定ですが、次回は、このようなことにならないよう頑張りたいと思います。次回幹事は、酒井様と長尾様です。

青空の下、緑の芝の上で、力一杯プレーするのは、健康管理上申し分なく、加えて、多少のギャンブル性も味わるる当同好会のコンペに、奥様等関係者もお誘いの上、奮って参加されるようお勧めします。

### 新会員大歓迎

第二十七回ゴルフ同好会コンペ

平成十四年十月十二日(日)

一の宮カントリー倶楽部

幹事 酒井 久幸

TEL ○三三三三五五〇八九九五

長尾 文雄

TEL ○四八〇一九三五一四二

参加申し込みは幹事まで。

### 囲碁同好会から

昭和二十八年卒 近藤 正昭

二〇世紀最後の年(平成十二年十二月)に発足した囲碁同好会は、まもなく三年目を迎えます。会員数九名でスタートしましたが、現在は十二名(女性一名含む)で活動しております。思考力・体力・棋力(有段者六名、級位者六名)等自信に満ち溢れた「つわものども」の集いは、十四年度上期で総対局数が累計で二七一局になります。対局数も見事ですが、少なくと

も二名の方には棋力の向上が顕著に表れてきており、当会としては誠に喜ばしいことです。例会は、囲碁のルール及びマナーを重んじ自然体(軽食とお酒、ビール等を飲みながら)での対局が決りようになってきたところですが、これからも、有意義な時間を過ごすと共に、充実した集いが継続することを願っています。

ここで、当会の活動内容を少しばかり紹介いたします。例会は、偶数月の第二木曜日(現役の方の都合も考慮)に実施することに決定し、まもなく一五回目を迎えるようになっています。今年の囲碁旅行(1/13~14)は、新年会を兼ねて象印箱根山荘(参加者九名:写真は山荘の談話室にて撮影)で開催し、天候も良く富士山が望める温泉保養所での囲碁三昧は楽しい集いでした。この新年会から、点数制と手合割表を取り入れ、例会毎の勝敗を成績表に記録し、持点を競って棋力の向上を計っています。この制度(ゴルフのハンデキャップと同等)を採用して半年経過した現在、会員各位の棋力のバランスは平均化され、気持ち良く・さわやかに対局できる例会になってきたと好評です。

そして、平成十四年度より囲碁大会を年二回(上期:六月、下期:十二月)開催することに決め、第一回の記念囲碁大会(6/9)を後楽園会館の和室にて行ないました。大会終了後、制度化された表彰規定に基づき、上期の成績表を審査し又は推薦等によって、栄えある最優秀賞には補

宜静麿氏、敢闘賞に小山真次郎氏、努力賞に友広寿氏、特別賞に加藤哲治氏が選ばれました。

毎月の例会は、新宿の囲碁サロン喜楽の特別室をホームサロンとして利用しています。会費は一、五〇〇円程度(サービス券利用・軽食と飲み物付)で午前十一時半から午後五時頃まで開催しています。会員以外の方の自由参加も歓迎です。以上がここ一年間の囲碁同好会の活動状況です。

囲碁界の明るい話題について一言。最近の囲碁雑誌・囲碁新聞のトピックスには、『ヒカルの碁』に関する記事が満載です。『ヒカル碁』は、当初少年ジャンプに掲載され人気を呼び、テレビアニメで囲碁ブームに火をつけたようです。このテレビ漫画は、梅沢由香里四段の監修で、登場する人物は明るく・さわやかな美少年・美少女で、格好良さも加わり、幼い世代にも圧倒的な人気があります。囲碁は高齢者?というイメージがなく、清新な魅力が強調されていることから、囲碁に興味を持つ園児、小中学生が急激に増えています。今年の三月三日、北海道から沖縄までの全国六ヶ所、北海道から沖繩までの全国六ヶ所、『ヒカルの碁ジュニア入門教室』が一斉に開催され、なんと約八千人(例えば、日本棋院五〇〇人、任天堂一、二〇〇人)が集り熱気に包まれたそうです。日本囲碁連盟(小生は学苑会員)でも、夏休みの特別企画として『子ども囲碁入門講座』(無料)を開き子供に囲碁をPRする。引き続き、毎週土曜日に『囲碁入門・子供教室』(有料)を予定。お隣の韓国では、子供囲碁教室が三、〇〇〇ヶ所もあると聞きます。

## 自動車販売会社 株式会社 ヨシダ

代表取締役 吉田 玲 呪 (昭和47年卒)

〒123-0844 東京都足立区興野1-15-10-203  
TEL・FAX (03) 3840-0977  
携帯 090-4713-0977  
E-mail:y.reiji@helen.ocn.ne.jp

★商品のお問い合わせは全国のエステ・デ・コモへ。

Ferie cosmetics Co.,Ltd.

ferie 株式会社 フェリエ化粧品

http://www.ferienet.com

- 150-0001 東京都渋谷区神宮前5-50-6 DPM青山ビル7F
- Tel.03-5774-0656
- Fax.03-5774-0657
- E-mail: como@ferienet.com



最近は、チビッコの囲碁大会(団地の公民館)親子囲碁サークル、一般の碁会所等々が特に盛んになって来ました。これは、概ね『ヒカルの碁』が影響しているでしょう。

近い将来、囲碁の指導者養成講座が必要になるかも?ともあれ、囲碁人生を楽しむものとしては、盛大に拍手を送って喝采です。木谷實九段の孫、小林光一・礼子夫妻の長女として生まれた小林泉美女流本因坊は、囲碁界のサラブレッドとして活躍されています。そこで、本人のコメント(囲碁雑誌から)は、「碁をやって良かったことは、自分の考えだけが正しいわけではないと知ったこと」そして「私って主婦業にもあこがれているんですよ。テレビ対局では時々拝見しています。あれがためて泉美さんのファンになりました。これからも、感性を豊かにする為に、夢と希望はあきらめず、ルンルン気分です。当会の発展を願っています。

以上

### バスハイクで親睦を!!

東京格致会の皆様、来年から春・秋の二回、日帰りのバスハイク親睦会を開催する計画をたてました。御家族の皆様共々御参加下さい。温泉等でリフレッシュしましょう。

計画内容として

1. 行先……関東一円(主に温泉場のある所)
2. 出発場所……主に東京駅か新宿駅になります。

興味をお持ちの方は、次の世話役に御一報下さい。詳細が決まり次第、御案内致します。

兼利 卓蔵 (28年卒) Tel. 048-622-1366  
森沢 進 (33年卒) Tel. 0474-42-1176

囲碁愛好者の皆さんへ

### 『囲碁同好会の集い』に参加して見ませんか!

例会は、毎月の第2日曜日です。雰囲気も良く楽しさイッパです。会員一同お待ちしております。参加希望者は一報下さい。詳細を説明し、資料を送ります。その他は、東京格致会会報の同好会だよりをご覧ください。

囲碁同好会 代表-友広 寿 (27年卒)  
会計-合田良三 (33年卒)  
事務局(連絡先)-近藤正昭 (28年卒)  
〒214-0013 川崎市多摩区登戸新町56-3  
TEL・FAX 044-922-8923

### 基金

東京格致会の活動に賛同する者が会の活動基金を拠出する制度が平成五年度に設けられました。今年度は次の方から出資がありました。ありがとうございます。

足立 勇(昭和二十年卒)

### 東京格致会会員の特典

『庄原グランドホテル・庄原カントリークラブが割安利用』

庄原グランドホテルをご利用の方は会員登録をフロントに呈示することにより、宿泊料が一割引になります(同伴者も一律に特典あり)。

また、庄原カントリークラブもメンバー並の料金でプレーが楽しめます。詳しくは事務局へお尋ね下さい。

◎庄原グランドホテル

庄原市西本町二一六―五

電話 ○八二四七二一六七八九

◎庄原カントリークラブ

庄原市板橋町六〇〇

電話 ○八二四七二一六―二二二

### 会員登録の発行方法

年会費納入者に対し会計年度毎、発行します。総会開催時又は本人の申し込み(事務局へ)によりです。

### 年会費の納入をお願いします

《振込口座》

◎年会費 一、〇〇〇円

郵便振替 〇〇一五七七一二九五〇

東京格致会

事務所 〒二二六―〇〇〇六

横浜市緑区白山四一―二五―一七

合田 良三

電話・FAX ○四五(九三四) 三九五六

### 編集後記

母校の金岡校長先生、伊達同窓会長よりの近況、三十五年卒業原知樹様(市役所のOB)の郷土だよりの寄稿をいただきました。

公務多忙のところ、協力を賜り厚く御礼申し上げます。

東京格致会関係の皆さま方(団体等)から広告、寄稿の協力をいただいたの会報発行となりました。

この会報が皆様の情報交換の場として活用され東京格致会会員の拡大、発展になればと願っております。

皆様からの投稿をお待ちしています。内容については趣味・旅行記・会に対する御意見等何でも結構です。どしどしお寄せ下さい。

### 総会・会報の実行委員

合田 良三、信清 治、森沢 進、八谷 英樹、田辺 実、花田 和教、迫田 秀明、藤原 剛、吉田 玲児

J E W E L E R

miwa

東京都中央区銀座6-7-2  
TEL.03-3572-5011  
http://www.miwaj.com